



大田区立馬込第二小学校

学校だより

令和四年度 一月号

家庭数配布

新年を迎え 校長 山崎 宏則

初日さす 硯の海に 波もなし 正岡 子規

初日が戸窓の隙間から六尺の床に差し込み、何事かを綴ろうとした硯の墨からは、どこまでも静寂でぴんと張り詰めた元日の冷たい空気が伝わってきます。新年の抱負をしたためたのでしょうか。穏やかで静かな子規の心境が感じられます。新年の決意を新たにした後には、美味しそうな※お雑煮の匂いがどこからともなく漂い、外で遊ぶ子どもたちの元気で楽しそうな笑い声も聞こえてきそうです。(※実際に、「雑煮食ふてよき初夢を忘れにけり」という愉快な句があります。)

新年、明けましておめでとうございませす。令和五年を迎えました。昔日の正月は、子規の句にもあるように本来は静寂と賑わいの両方の側面があったように感じます。

昨今は、季節に応じた数々の行事も時代の変化と共にイベント化し、賑やかな側面のみにスポットが当てられる風潮が増えてきたように思います。

お正月については、初詣、新年会と家族や友達と賑やかに楽しく過ごす一方で、自分と向き合い、新年の決意を自身に問う静かな一人だけの時間も大切にしたいものです。「二年の計は元旦にあり」。人間は、長期目標に対して示す情熱や粘り

強さを発揮すると成果を挙げやすいことが心理学的にも実証されています。子どもたちの新年の決意は、必ずや令和五年の大きな成長の拠りどころとなるはずです。

学校では三学期早々に、「新春書き初め」を実施いたします。低学年は硬筆、中高学年は毛筆を行います。各学年、「硯の海に波のない」静寂の中で、決意を新たに自分と向き合う有意義な時間となるように取り組みます。子どもたちの力作は「校内書き初め展」として廊下に掲出いたしますので、ぜひ、ご鑑賞ください。

ところで近年、小学校の教科書はずいぶん変わりました。国語の教科書には「季節の言葉」というトピック単元が二、六年生で取り上げられています。その内容は学年に応じて様々ですが、五年生では、季節に応じた古文や詩を扱っています。十二月下旬には「季節の言葉4 冬の朝」を学習しました。「冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも…」中学古典でお馴染みの「枕草子」を小学五年生でも扱っています。年間を通して、春夏秋冬それぞれの時期に応じた古文や詩にふれ、音読などを通して言葉の響きやリズムに親しむことがねらいです。

木枯らし 北風 空つ風／寒波 冬めく／
凧(がらし)や海に夕日を吹き落とす 夏目 漱石
風花(かざはな) 初雪 粉雪／雪模様 雪化粧／
華やかに風花降らすとの雲ぞ 相馬 遷子

季節を彩る書き言葉の数々に、まだまだ我が国の「季節を表す『本物の』言葉」が残っているような気がします。日常の生活に忙しく慌ただしい毎日。ついつい季節の移ろいに気を留めることなく通り過ぎてしまいがちな昨今。折にふれ、このような学習を通して、子どもたちにとって有意義な学びの機会を大切に、学習を進めて参ります。まだまだ寒風吹きすさぶ日々が続きます。子どもたちの健康にも留意し、元気に登校できるように、令和五年も引き続き、教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

四年生の様子

四年担任より

十二月二十三日の二学期の終業式に、四年生の児童三人が代表の言葉を担当し、全校児童に向けて、スピーチをしました。四年生の全児童が二学期に頑張ったこととして挙げたことのいくつかを紹介いたします。

一つ目は、十二月に行った学芸会です。一学期から継続して学習してきた「馬込文士」を題材にオリジナルストーリーの演目を行いました。学年全員で協力して取り組んだことが心に残り、努力の大切さを知る機会となったようです。

二つ目は、ハードル走や持久走などの体育の学習です。努力した結果が形として分かることもあり、多くの児童が挙げていました。

三つ目は、国語の学習の時間の「詩作」の取り組みです。比喻や反復などの技法を用いて、感動した体験を詩で表現しました。友達との協同的な学習を通して、言葉選びをしながら詩をつくっていくことの楽しさに気付いたようです。

三学期も、それぞれがめあてをもって様々な活動に前向きに挑戦し、心身ともに大きく成長をすることを願っています。

「算数」の学習について

算数少人数担当より

算数はなぜ必要な学習なのでしょう。子どもに限らず、大人でもこの疑問に明確に答えられる人は多くないかもしれません。スーパーマーケットのレジで計算ができるとお会計が早いからでしょうか。将来、コンパスが使えなかったり、面積が測れなかったりしたら困るからでしょうか。そんなことはあ

りません。なぜなら、計算問題は計算機があれば必要なからです。コンピュータによる様々なアプリを使用すれば、面積や長さなどの量を測ることができます。さらにはインターネットで世界中の知りたいたことをその場で知ることすらもできます。公式をただ覚えて答えだけを出すのであれば「算数って必要ないじゃないか。」と思うことはむしろ当たり前のことのように感じます。

馬二小の算数では、考える過程や根拠を大事にします。課題に対し子どもたちがいろいろな考え方を出し、それを交流しています。その中で様々な方向からの考え方に触れ、簡単に考えられたり楽に求められたりする「より良い考え」を自分なりに選び、考えを深めていきます。

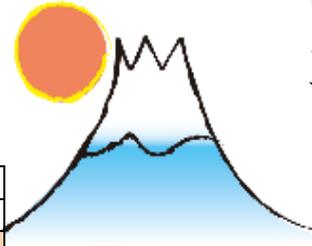
では、それがなぜ必要な学習になるのでしょうか。算数は基本的には、今までに学んだことを組み合わせさせて解くものです。学習したことを順序立ててつなげ、新しい課題に挑戦する。このように論理的に考える力を鍛えることで、未知の課題に対応できる「生きる力」につなげるのが算数の究極の目標です。テストで百点をとったり正答を出したりするだけが算数ではありません。きちんと考えたうえで間違えることは恥ずかしいことでもありません。むしろ、なぜその考えが間違いなのかを論理的に追究することも算数の学びの一つです。

保健関係コンスト

養護教諭より

一月の保健目標は、「空気を入れかえよう」です。こまめな水分補給や加湿、手洗いなどに加え、部屋の空気を入れ替えが感染症対策にはとても必要だと言われています。二方向の窓を開け、空気の通り道を作ることで、部屋の空気が循環し、五分程度で部屋の空気が入れ替わります。

一月の生活目標
進んであいさつをしよう



今年度は、新型コロナウイルス感染症だけではなく、インフルエンザやノロウイルスの流行も懸念されています。冬の寒い時期ではありますが、学校でも一時間に一回のタイミングで二方向の窓を開けて空気を入れ替えを行い、感染症対策を行ってまいります。

日	曜日	放課後遊び	
		補習教室 (15:05~15:45)	
1	日	元日	
2	月		
6	金	冬季休業日終	
7	土		
8	日		
9	月	成人の日	
10	火	始業式 特別時程 午前授業 給食なし 書き初め	
11	水	安全指導 給食始 午前授業 書き初め	
12	木		○
13	金	一年生金曜日5時間授業始	○
14	土		
15	日		
16	月	委員会活動 避難訓練 (Jアラート) 発育測定 (始) 校内書き初め展 (始)	
17	火		○
18	水	児童集会	
19	木		○
20	金		○
21	土	学校公開日 特別時程 午前授業 子どもまつり 校内書き初め展 (終) 地域教育連絡協議会	
22	日		
23	月	クラブ活動	
24	火		5.6 ○
25	水	なかよし班活動	
26	木		3.4 ○
27	金		○
28	土		
29	日		
30	月	クラブ活動	
31	火		5.6 ○

校内書き初め展のお知らせ
期日：1月16日（月）～1月21日（土）
詳しいことは、各学年だよりを確認してください。

スクールカウンセラー来校日

お気軽にご相談ください。
担任、養護教諭、または、スクールカウンセラー専用携帯電話へ相談予約をお願いします。

KB (火)	KY (木)	相談時間
17日	12日 19日	KB 火曜日 9:00 ~ 16:00
24日 31日	26日	KY 木曜日 9:00 ~ 17:00
1回 30分間		初回 50分間

080-5977-6167
(相談日をお願いします)